

第96回 全日本男子ホッケー選手権大会

2022年11月18日(金)～11月20日(日)

公式試合記録



公益社団法人

日本ホッケー協会

試合番号	開催日	開始時間	プール/回戦	試合会場
⑪	11月19日(土)	14:30	男子準決勝	大井ホッケー場 メインピッチ

チーム名 天理大学 (奈良県)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>Q</td> <td>1</td> <td rowspan="4">3</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>Q</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>3</td> <td>Q</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>4</td> <td>Q</td> <td>1</td> </tr> </table>	2	0	1	Q	1	3	1	2	Q	0	0	3	Q	1	1	4	Q	1	チーム名 L I E B E 栃木 (栃木県)
2	0		1	Q	1	3														
	1		2	Q	0															
	0		3	Q	1															
	1	4	Q	1																

出場時間	背番号	氏名 (GK/C)	G	Y	R
×	1	坂口 尚哉 (GK)			
×	2	石川 創			
×	3	渡部 純			
6	4	森 丈一郎			
5	6	中島 丈大			
×	7	山本 淳貴			
3	8	渡辺 圭太			
×	10	松島 貴也 (C)			
×	11	田中 翼			
×	12	和田 公志	37		
×	15	永吉 拳			
×	17	新貝 凜			
16	18	黒田 紀彰 (GK)			
×	20	山堀 裕陽			
×	21	千葉 友貴			
5	24	白根 樹也			
6	29	田中 太晟			
6	34	伊藤 瞭汰			
コーチ					

出場時間	背番号	氏名 (GK/C)	G	Y	R
×	1	稲山 巧		58	
×	2	下畝地 洸聖			
×	3	和田 友道			
×	4	霧下 義貴			
23	6	江田 司			
×	7	加藤 凌聖			
4	8	大嶋 雄飛			
×	9	大橋 雅貴			
×	10	星 卓 (C)			
×	11	松本 航			
7	12	高橋 一晟			
7	14	大橋 飛人			
5	16	植木 涼太			
	19	手塚 広佳 (GK)			
8	23	大嶋 鴻太			
×	27	森田 陽介 (GK)			
×	29	村田 和麻	56		
×	30	落合 大将			
コーチ		若林 勝己			

監督	穴井 善博
アンパイア	木下 英貴
スコアリング ジャッジ	栗原 崇
T O	高野 禎

監督	福田 敏昭
アンパイア	氏家 健太
タイミング ジャッジ	長谷川 慧
リザーブアンパイア	小林 哲也

チーム	時間	No.	種類	得点	チーム	時間	No.	種類	得点	チーム	時間	No.	種類	得点
LIEBE	12	14	PC	0 - 1										
天理大学	25	15	PS	1 - 1										
LIEBE	34	11	FG	1 - 2										
天理大学	51	11	FG	2 - 2										
LIEBE	60	4	PC	2 - 3										

種類：FG = フィールドゴール, PC = ペナルティコーナー, PS = ペナルティストローク

特記事 VUMP 成田 健一
60分天理大学チャレンジ権喪失

第3試合

天理大学 2 $\begin{pmatrix} 0 & 1Q & 1 \\ 1 & 2Q & 0 \\ 0 & 3Q & 1 \\ 1 & 4Q & 1 \end{pmatrix}$ 3 LIEBE 栃木

<p>得点</p>	<p>天理:25分(永吉、PS)、51分(田中(翼)、FG)</p>		
	<p>L栃木:12分(大橋、PC)、34分(松本、FG)、60分(霧下、PC)</p>		
<p>戦評</p>	<p>天理のセンターパスにより試合が開始された。第1Qは一進一退の攻防が続く中、13分LIEBE栃木がPCを獲得。7番加藤の強烈なフリックシュートをGKがセーブするも、リバウンドを14番大橋がゴールに叩き込んでL栃木が先制点を奪う。第2Qに入り天理がやや優位に進める。17分、天理21番千葉が左サイドから入り込み自らシュートを放つもの惜しくも枠の外へ。その後も10番松島がセンターからリバースシュートを放つなど、天理の波状攻撃が続く。25分、天理がPC獲得。L栃木GK森田が弾いたボールを天理が押し込むも、際どいビデオ判定となりPSを得る。天理永吉が冷静に決めて同点とする。26分L栃木がカウンターから7番加藤がサークル内でのキープからシュートをゴールに放つもクロススの反則でノーゴールに。その後も激しいボールの奪い合いとなり、第2Q終了。第3Qに入り34分L栃木がサークル内への放り込んだボールに対して、11番の松本が素早く反応し、相手ボールを奪ってシュート。これが決まりL栃木が再びリードを奪う。38分天理12番和田がグリーンカードを受け2分間の退場となる。42分L栃木11番松本がスルーパスを受けてディフェンスの裏に抜け出すも天理GK1番坂口のファインセーブ連発に阻まれる。45分天理20番山堀がスピードのあるドリブルで切り込むも得点につながらず。第3QはL栃木が1点リードし、最終第4Qを迎える。第4Q51分天理21番千葉の打ち込みに対して、11番田中が反応し、タッチシュートが決まる。天理が追いつき、2-2の同点となる。L栃木は53分、54分、55分と立て続けにPCを得て攻め込むが、天理の好守に阻まれる。L栃木は56分村田、58分稲山が、それぞれグリーン、イエローカードを受けて退場となる。数的優位な天理は60分10番松島がドリブルで切り込み、シュート打つもの惜しくも外れる。このままSO戦に突入かと思われたが残り10秒でL栃木が打ち込みからPCを獲得。4番霧下が強烈なフリックシュートを決めて勝ち越し。直後にホーンが鳴り、試合終了となる。L栃木が劇的な勝利をものにし、決勝へと駒を進めた。</p>		
<p>テクニカルオフィサー ジャッジ</p>	<p>高野 禎 栗原 崇/長谷川 慧</p>	<p>アンパイア</p>	<p>木下 英貴 氏家 健太</p>